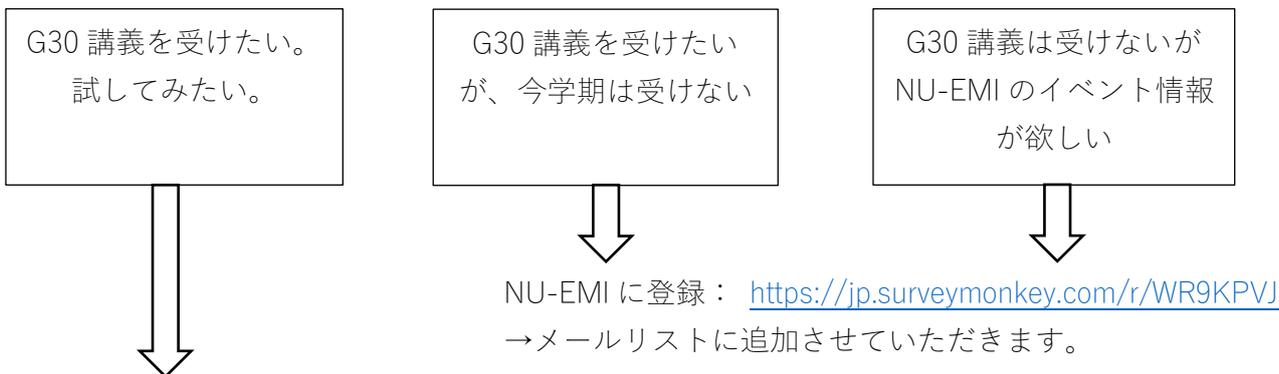


NU-EMI 2022 Fall

登録方法と G30 講義受講・サポートまでの流れ

今学期は以下の登録方法とします。

**G30 講義を受けたい方：**

Step1 講義を選んで、受講方法を決めてください。

<どの講義にしようかな？>

まずは、NU-EMI のホームページのコースリスト&タイムテーブルをみてね。

・ NU-EMI ホームページ（教員から日本時学生の受け入れの許可をもらっている講義です）

● コースリスト・タイムテーブル：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/course/>

-タイムテーブルの講義名をクリックするとシラバスが見られます。

-タイムテーブルの教員名をクリックすると講義の詳細情報がまとめてあります。

-タイムテーブルの下の方には、コースリストがあります。PDF もご参照ください。

● シラバス & 先生からのメッセージ：<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/syllabi/>

・ NU-EMI コースリスト以外の G30 講義*

日本人学生の受け入れ可否は、各自で担当教員に問い合わせてください（問い合わせ方法は、Step2 で）

● 教養教育院サイト：全 G30 教養科目(ILAS)のリスト（PDF もご参照ください）

<https://office.ilas.nagoya-u.ac.jp/files/kyomu/G30/2022fall/TimetableB.pdf>

● 各部局のシラバス：名大ポータルのシラバス検索等で G30 プログラムの講義を探してください。

* 語学の講義、体育や実習などの講義は対象外です。

<受講方法とは？>

英語による講義はちょっとレベルなど心配。まずはお試し受講することもできます。また、単位取得を目指して履修登録する以外に、聴講するという方法もありますよ。

① 「お試し受講」：講義の難易度、英語レベル等が不安な場合、講義をお試しで受講ができません。

・ お試し受講期間は 10/3 (月)から 10/14(金)までです。

・ 試してから、単位取得を目指すか、聴講するか、受講しないかを決められます。

・ まずは、担当教員と NU-EMI にお試し受講の意思を伝えてください。(Step2)

- ・お試し受講した結果、受講するか否かを 10/17(月)までに教員に連絡してください。
また、NU-EMI 登録に再入力し、サポートの要不要を連絡してください。
- ・「受講しない」と決めた場合も、教員と NU-EMI に連絡してください。
- ・お話し期間中は、まだ受講サポートは受けられません。
- ・**単位取得受講する場合は、名大ポータルで履修登録の修正（修正入力期間は 10/4～10/11(火)）が必要となります。**

② 「単位取得」：単位の取得を目指します。名大ポータルで『履修手続き』が必要です。

所属学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

卒業に必要な単位と認める学部もあれば、卒業に必要な単位数に数えられない「随意科目」*として扱われる場合があります。詳細は、別紙「国際プログラム専門科目の履修：学部別修得単位と GPA 参入について」をご参照ください。また、所属の教務に確認してください。

- ・全学教養科目で英語で開講しているものもあります。

例 金 5 共通) G30]Studium Generale A,VASSILEVA Maria

- ・この2つは、全学教養科目履修はできるが、卒業要件として認められない科目(随意科目*)

月 6 数学特別講義(機械学習のための数学) Special Mathematics Lecture (Mathematics for machine learning), Henrik Bachmann

水 6 数学特別講義 Special Mathematics Lecture (Groups and their representations), Serge Richard

<注意！>学部、学科、学年によって、G30 講義の単位の扱いは異なります。

詳細は所属の教務に確認してください。

*「随意科目」：卒業要件に関わらない授業科目で、5 段階により成績評価がなされ成績表に記載されます。GPA には算入しません。

③ 「最後まで聴講する」：単位取得を目指さない/(制度的に履修登録できなくて) 目指せないが、最後の講義まで受講し続けます。

- ・担当教員に聴講の許可をもらってください。
- ・講義には毎回出席してください。出席したりしなかったりは認められません。
- ・受講の記録は成績表に記載されません。(記録が残りません)
- ・課題、試験等については直接担当教員と相談してください。
- ・聴講を途中で止めるなど、変更がある場合は必ず担当教員に連絡してください。

Step2 登録する！

① 担当教員へメール：_

受講する講義の担当教員にメールで、受講(単位取得、聴講)/お話し受講の意志を伝えてください。

- ・メールアドレスは、講義一覧あるいはシラバスに記載されています。
- ・メールの書き方は、後ろの方のテンプレートを参考にしてください。

② NU-EMI の受講登録：

受講方法、サポートの要不要にかかわらず、下のリンクより必ず登録してください。

教員との連携およびサポートを手配します。また各種情報を提供します。

なお、名大ポータル履修登録とは別で、連携していません。ごめんなさい。

リンク：<https://jp.surveymonkey.com/r/WR9KPVJ>

③ 単位取得を目指す場合は名大ポータルで履修登録：

必ず履修登録期間中に履修登録をしてください*。

NU-EMI の登録と名大ポータルは別で、連携していませんので、両方でおこなってください。

*履修登録する期間は、科目により異なりますので注意してください。

Step3 講義の受講+サポート

① 10月3日(月)の週から講義が始まりますので、受講開始してください。

② NU-EMI のサポート

・対象者：学期を通して G30 講義を受講*し、サポートを受け続けることができる方。

*講義を途中から継続できなくなった場合はサポートも中止します。

・サポートの種類：

●個人指導

1) G30 留学生チューターあるいは担当教員が選んだ大学院生等による 1 対 1 の指導

2) 指導時間数は学期を通じて 30 時間まで (週 1.5~2 時間程度)。15 時間以上は指導を受けてください。

3) 指導内容、指導の方法 (対面/オンライン、実施日時、場所等) はチューターと決められます。
参考) NU-EMI の G 30 チューターが作ってくれた、チューター活動についてのビデオです。

・「NU-EMI Tutoring」に参加したきっかけは何ですか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1171.html>

・「NU-EMI Tutoring」はあなたにとってどのようなメリットがありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1178.html>

・普段の「NU-EMI Tutoring」では何をしているのですか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1203.html>

・興味がある方にアドバイスがありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1210.html>

・印象的な出来事がありますか？

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1219.html>

●**グループ学習** G30 留学生チューターあるいは留学生 TA と複数の日本人学生とでグループで学習します。(週 1.5~2 時間程度)

1) 講義内容によって、講義の担当教員が初めからグループ学習を決定しているものもあります。この場合は、お試し受講であっても、グループ学習に参加できる場合があります。

参考)グループ学習についての体験談です。(学年は執筆当時のものです)

- ・ 理学部 4 年 S さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/968.html>
- ・ 理学部卒業生 T さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1260.html>

2) 日本人学生の受講者数次第で、講義の担当教員がその講義のサポート方法をグループ学習とする場合もあります。

●その他

- ・ NU-EMI 講義一覧にない G30 講義の場合。

まず、担当教員にメールでの受講の許可をもらってください。

受講の許可が得られた場合、NU-EMI に講義名と担当教員の連絡先をご連絡ください。

サポートのご希望があれば NU-EMI から担当教員に問い合わせます。

<参考情報>

★ 受講者説明会

日時：9月30日（金）午前11時から12時

場所：理学部南館セミナー室にて

方法：対面とオンライン(Zoom)のハイブリット

登録：不要

G30 教員や、留学生、受講経験者のお話もありますので、ぜひお気軽にご参加ください。

<http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/events/2105.html>

当日の録画を NU-EMI webpage に掲載予定です。

★ 受講者体験談：

農学部 1 年 Y さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/962.html>

情報学部 4 年 鈴木さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1316.html>

生命農学研究科 K さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1313.html>

工学研究科前川さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1300.html>

工学部 4 年 M さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1345.html>

理学部 4 年 志村さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/information/1351.html>

経済学部 3 年 奥田さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/experiences/1616.html>

文学部 2 年 伊藤さん <http://labguide.bio.nagoya-u.ac.jp/NUEMI/experiences/2065.html>

(学年は執筆当時のものです)

★ ご質問や困ったことがあった場合は、お気軽に NU-EMI 学生窓口へご連絡ください。

NU-EMI 学生窓口：<https://jp.surveymonkey.com/r/VRRTV7Y>

担当教員へメールを送ろう！

- ★必ず全学のメールアドレスから送ってください。(教員が必要な情報です。)
- ★テンプレートの<>内の青文字部分を入れるだけで大丈夫です。
- ★G30 教員には、皆様からメールが届くことをお伝えしていますので、大丈夫です。
* Studium Generale(金曜5限)は教員へのメールが不要です)

<メールテンプレート>

1) 受講の希望を教員に伝えるメール文例:

メールのタイトル : Request to take your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

自
分
の
情
報

I am <Full NAME 名前 例 Hanako MEIDAI (Family name 苗字は CAPITAL letters 全部大文字)> ,
a < 学年 例 first, second, third, fourth > year <SCHOOL 学部 Science, Law, Engineering 等>
student.

My student number is <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > and my Nagoya University
ID is, < 名大 ID aa0000000 (letters and numbers アルファベットと数字)>.

受
講
方
法

受講方法によって、a,b,c,d の場合から一つ選んでください

a.単位取得受講の場合、

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> for credits.

b.最後まで聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end.

c.学部の制度上、単位が取れないため、聴講のみの場合

I would like to take your course, <COURSE NAME 講義名> to audit to the end, because regulations
do not permit me to officially take your course.

d.お試し受講の場合、

I would like to try your course, <COURSE NAME 講義名> before I decide whether to take it or not.

講
義
内
容
の
知
識

教員への情報として、講義内容の知識をお伝えすると教員も対応しやすいです。

a, b, の場合から一つ選んでください。

a.講義内容について全く知識がない場合 (他学部・学科の講義を受ける場合など)

I have no experience with your course content.

b.講義内容に近い講義を、<日本語で・英語で>受講した経験がある場合

I have taken similar course < Course name > in <Japanese /English > before.

お
わ
り
に

I ask that you add me to the NUCT/CANVAS list so that I can access your course material.

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

2) 受講をやめたい場合のメール文例

受講をやめるのは、何も悪いことではありません。そのように決めた場合、教員にその旨伝えることはとても大事です。受講しないと決めた場合は必ず連絡して下さい。

メールタイトル : Request to withdraw from your course: from a NU-EMI student

メールの本文

Dear Professor <Professor Family Name: 例 Professor Smith>,

I am <Full NAME 名前 例 MEIDAI Hanako (family name in CAPITAL letters 苗字は全て大文字で)> ,
student number <学生番号 1111111 (only numbers 数字だけ) > .

I would like to withdraw from your course <COURSE NAME 講義名> .

Best regards,

<Full NAME 名前 例 Hanako Meidai>

NU-EMI プロジェクト